

## 令和 6 年度 第 3 回理事会 議事録

日時 令和 6 年 11 月 26 日 (火) 17 : 30 ~ 18 : 40

場所 Zoom による Web 会議

出席

理事 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 冨田 耕一 石井 敦 石塚 毅彦  
菅野 真紀 伊豆野良太 小笠原智子 宇野 恵 高橋 瑠美 金子 章江  
丸川 明徳 齋藤 朋子 奥山 馨 渡部 冬虹 石塚 玲子 高橋 佳代  
荒生 聖子

監事 菊池 功祐 鈴木めぐみ

議長 植木 哲也

書記 宇野 恵 小笠原智子

欠席 (委任) 阿部 智哉 三部美穂子 伊藤千代子

議事

本理事会は、理事 21 名のうち 19 名が出席であり、定款第 33 条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。

○ 報告

### 1. 会長報告 / 日臨技・北日本支部

- ・ 11/16(土)日臨技第 5 回理事会に出席。全国学会が来年 5/10(土)~11(日)に鳥取県で開催予定。一般演題の演題募集が 12/2(月)まで延長となった。目標 500 題のところ、現時点で 150 題の申込みあり。令和 8 年度は、青森県が担当で IFBLS 国際学会と合同開催となり 9/26(土)~27(日)幕張メッセで開催予定。
- ・ 日臨技事業として、ニューリーダーの育成講習会の後継として次世代人材育成プロジェクト WG が立ち上がった。目的は未来リーダー (人材) 育成を目的としている。
- ・ 日本臨床検査振興協議会から検査実施コストの実施調査等の協力依頼があります。山形県内の定点施設へ依頼します。FDP、リコール、クロストリジウム・ディフィシルの 3 項目です。診療報酬改定に活かされますので協力願います。
- ・ 1/24 日臨技の賀詞交換会、1/25 第 6 回理事会が東京都市センターホテルで開催、植木会長出席予定。
- ・ 北日本支部報告 12/13 (金) 北日本支部連絡会議 (仙台市) 植木会長と支部学術部門長 (鈴木俊市氏) 出席。
- ・ 12/14(土)、15(日) 北日本支部医学検査学会は宮城県仙台市国際センターで開催。  
R 7 年度は新潟県、(11/15 (土)、16 (日) 朱鷺メッセ新潟にて)  
令和 9 年度は本来青森県が担当であるが、前年に全国学会 (国際学会とジョイント) を主担当で幕張メッセで開催することから山形県担当がほぼ決定、前年度 (R8 年) の秋田県担当の北日本医学検査学会には山臨技準備委員会を組織して見学に行く予定。

### 2. 各地区 (村山 / 庄内・最上 / 置賜)

村山 : 県学会の中間報告を後で行う。

庄内・最上 : 第 1 回庄内・最上地区の研修会を 10/12 (日) に新庄病院を会場とし開催。

内容はレントゲン・CT・MRI の読み方と新庄病院の見学会。

第2回の研修会は2月予定。

置賜：研修会を来年2月に実施予定。

### 3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務部：学術部の委嘱状について

山形県職員において理事会等で日当（報酬とみなす）が生じる際、その都度（毎回）営利企業等従事許可申請書の提出が必要となった。

これまで各理事に対し、委嘱状を提出していたが、今後は部門長・部門員に対しても委嘱状がほしいとの要望があり、理事会で委嘱状の送付について承認された。R6年4月1日からの日付で、学術部役員全員に一律で委嘱状の郵送を行う。

・精度管理報告会が12月8日（日）山形県立中央病院講堂で開催されるが、セキュリティーの関係で出入り口がロックされることから、庶務部長と会長で対応協議。

学術部：部門研修会の報告

9/14 病理部門研修会 32名参加

10/5 総合部門研修会 39名参加

10/19 微生物部門研修会 40名参加

11/16 血液部門研修会 参加人数不明

11/23 輸血部門研修会

12/14・15 北日本学会へ当会より座長6名を選出。

2/1 血液部門研修会予定。

2/15 一般検査部門研修会、染色体・遺伝子検査部門研修会予定。

企画：「検査と健康展」を11/16（土）イオンモール三川1F通路にて10時～15時で開催した。

実務委員24名参加。宣伝としてチラシ作成、県教育局に相談し小中学校へチラシの配布。東北、新潟の臨床検査技師養成学校のパンフレットも配布。

顕微鏡、骨密度（約100名測定）、物忘れ診断、貧血検査、血管年齢、生理検査ブースなど、どのコーナーも大盛況で、来場者は途切れる事無く200名程度であった。

実務委員も来場者も楽しめた検査展になった。実務委員、来場者からのアンケート結果を参考に、次年度に向けてより良い検査展が開催できるよう企画担当で検討していく。

来年度は村山地区のイオンモール南山形にて開催予定。県学会の日程決まり次第始動する。（植木会長より）日臨技でも「検査と健康展」の在り方について議論されているが、山形県では一般の方と触れ合う機会でもあるため臨床検査技師の知名度アップと後進育成のため引き続き開催していく。

会計：入金状況報告

7月 定期総会 議決権行使における回収費 44200円

検査と健康展 開催助成金 50万円

県学会 ランチョンセミナー広告費 5万円（栄研化学・アボットジャパン）

県学会 企業PR費 1万円（デンカ・Canon・BML）

その他の企業については学会事務局で確認中

生涯教育推進研修会助成金

8月 血液検査セミナー

10月 病理・細胞部門研修会 の助成金は入金を確認。

11/28 臨床検査総合部門研修会/臨床微生物研修会の助成金は入金予定。

#### 4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：学術・企画・県学会における生涯教育の申請は順調に行われている。

今後の学術部門から要項の届いている研修会においては申請を行っている。

精度管理・データ標準化：精度管理報告会 168名参加申し込みあり。

12/8（日）県立中央病院 2F講堂にて9：50～15：50

12：00～医学検査学会表彰式

昼食申し込み102名

ホームページ：HPのリニューアルに費用100万円（リニューアル準備期間は約9か月）

維持費 年間40万円

賛成多数により決定。

編集委員会：8月と10月に2部発行。

次号は来年2月28日発行予定。原稿依頼に協力願います。

（植木会長より）北日本支部医学検査学会の抄録集が事務所に届いており、石塚庶務部長と東海林事務局長で8割送付完了、残りも速やかに送付予定。

#### 5. その他

県学会の中間報告

・時間に余裕をもって抄録の配付・HPの掲載を行うことが出来た。

しかし、スマホから山臨技のHPを見ても抄録を探せなかった。後日、詳細を再確認。

・当日参加人数 計250名。（一般会員・賛助会員）

・大きなトラブルなし。雨にもかかわらず、外にあったシスメックスの企業ブースにも来場者が多く、スタンプラリーは大盛況であった。

企業の説明をきちんと聞いたかは不明。

・運営委員（村山地区）のバランスも良く、実行委員がいなくても、休憩、設置等、話し合いながら順調に行われたと思われる。

・県学会のアンケートを実施中。締め切りは11月29日。

アンケートの結果をもとに、総括会議を2025年2月1日（土）に開催予定。

・教育講演も時間、内容ともに充実したものであった。

・県学会中間決算

収入

技師会より準備金 150万円

ランチョンセミナー参加費（4社×5万円） 20万円

企業PR参加費（7社×1万円） 7万円

一般参加費（198名×1000円） 約20万円

（非会員1名2000円支払いもあり）

賛助会員参加費

約3万円

合計で約200万円の収入

支出

会場費（ビックウイング）	約22万円
実行委員会費（リハーサル含む計5回）	約20万円
スタンプラリー景品代	約8万円
お弁当代	約45万円
学会当日の日当・交通費	約26万円
教育講演の謝礼	6万円

合計で約130万円の支出

残金70万円。総括会議後、決算をまとめて会計に戻す。

## ○議題

### 1. 学会学術賞および若人奨励賞の選考について

全17演題から21名の選考委員により推薦をいただき、規定に基づき最多ポイント数の演題・32歳以下で最多ポイント数の演題を選出した。

さらにポイント数の高い演題を学術部長推薦とし2題を選出。

合計4題を最終選考に選出。（事前資料あり）

→賛成多数により選出された4題を最終選考に進め、12月8日に表彰。

### 2. その他

#### ・災害協定

群馬県・徳島県・宮城県・山梨県・広島県で協定締結終了。他30都道府県は調整中。もしくは年内に調整に入る予定。

山臨技と山形県の間には災害協定を結ぶ方向で、このまま進めてよいか？

→理事賛成多数によりこのまま協議を進める。

山形県との協定成立後、要請があれば山臨技からの災害対策チームを派遣。

急性期よりも慢性期に避難所での下肢静脈エコーや、感染症（コロナ、インフルエンザ、ノロなど）予防のための検査等を想定中。

他県の動きを参考に、保障の話を含め進める。今後、理事会等で報告の予定。

#### ・R7年 元旦の山形新聞に山臨技の広告を掲載

1枠 74mm×83.5mm 6万円の枠に広告掲載。

→理事賛成多数により掲載を承認。

#### ・被災時のお見舞い金について

酒田豪雨における被災により、技師会費免除の申請が荘内健康管理センター職員の方よりあった。罹災証明書確認済み。

山形県臨床検査技師会の規定に基づき、被災時の次年度の技師会費の免除、お見舞金をお支払いする方向でよいか協議。

→理事賛成多数により承認された。

- ・精度管理委員長不在なので、来年度は精度管理委員会に所属する現理事 3 名の中から選出をお願いしたい。また、生化学部門長も不在なので会員人数の多い施設での輪番制を会長名でお願いする予定。

○連絡事項・その他

- ・タスクシフト

座学の終了者数が約40人台、9月から1名の増加のみ。受講中から増えない。

70名以上の終了者がいないと、開催は難しい状況。年度内の開催は無理。

受講率向上を目指す。

- ・北日本学会に出席する座長に対しての山臨技からの補助について  
業務執行理事で話し合い、今後他県なども参考に協議する。

- ・会計は年度末に集中しないように早めに提出のこと。

- ・次回理事会（令和6年度 第4回）

年明け、Web開催の予定